

株式会社タウNZ

静岡県伊豆の国市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

分析技術の集積により生み出された独自の 体外診断用医薬品、分析試薬の製造供給を 通じて人々の生活に安心と潤いを提供する

- 各国のニーズを踏まえた迅速かつ柔軟な製品開発を行い、一層の海外展開を進める
- 地域企業の医薬品産業参入のきっかけを作り、地域企業を巻き込んだ製造体制の構築
- 社長の交代後、新たな体制を整備しオープンイノベーションを推進

企業基本情報

所在地	静岡県伊豆の国市神島 761 番 1
電話 / FAX	0558-76-8181 / 0558-76-0022
U R L	http://www.tauns.co.jp
代表者	代表取締役社長 野中 雅貴
設立	1987年
資本金	1,660万円
従業員数	150人



会社概要

健康診断などで使用する生化学関連の試薬や研究用試薬を主に手掛けてきた企業。2000年からインフルエンザ等の迅速診断キットの分野に参入し、2008年からはファルマバレープロジェクトを通して、公的研究機関（大学、高専等）と共同研究を行い、その成果を活かした高精度のインフルエンザウイルス等の迅速診断キットを開発。大幅な機能向上を実現し、売上也拡大傾向にある。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

海外のニーズを踏まえた検査試薬の製品化を推進

2012年からMEDICA（独）に出展を開始し、2016年にはAACC（米）にも出展している。近年ではアジアを中心に現地メーカー（韓国やタイ）と提携し、徐々に売り上げを伸ばしている。特に韓国ではインフルエンザウイルスの検査キットのシェア約25%となった。また、主力のインフルエンザウイルス検査キット以外にも、海外途上国で需要が高いと見込まれる重篤な感染症（主に結核）の製品化を進めており（来年度発売予定）、一層の海外展開への準備を進めているところ。



MEDICA（ドイツ）出展

地域企業を巻き込んで医療分野のものづくり体制を整備

2008年からは静岡県が進めるファルマバレープロジェクトのファルマバレーセンター等支援機関とも連携し、公的研究機関（大学、高専等）と共同研究を行い、助成金等の支援を受け新方式の迅速キットの製品開発を進めた。また、同社が体外診断用医薬品の製造加工体制を構築するにあたり、地域内の企業に対し、医薬品製造業許可の取得、薬剤師の雇用を始め、医薬品産業参入のきっかけを作り、成長産業である医療・医薬品産業の地域への波及に貢献している。



静岡から世界へ

新たな社内体制の整備とオープンイノベーションの推進

2014年4月に創業者から事業を承継。これまで創業者の強いリーダーシップの下、創業者中心に意思決定を行っていたが、野中社長に交代後、執行役員制を敷き、各執行役員へ権限を委譲し、スピーディーな意思決定ができる体制へ変更している。

また、外部との共同研究も積極的に進め、社長等の外部のネットワークを生かし、早稲田大学等との共同研究を進めている。更に、上述の通り、海外展開も積極的に進めており、新たな取引先の獲得に積極的に取り組んでいる。



社長と執行役員